

2013 年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体) 最終報告書



記入日 2013 年 11 月 28 日

実践団体名		秦野市教育研究所	
連絡先		代表：杉山 哲也 0463-81-2125	
プランタイトル		防災教育指導計画と防災プログラムの作成と実践	
		番号*	詳細
1 プランの対象者	1,2,3,4,8	市内幼稚園、小中学校児童・生徒・教職員	
2 対象災害種別	1	主に地震	
3 プランの目的	1,2,4,5,6,7,9	<ul style="list-style-type: none"> ・自助の心と共助の心を培う ・幼小中一貫防災教育実践紀要作成 	
4 協力・連携先	1	市内幼稚園・こども園・小・中学校	
5 プログラムの種類	5,6,16	教科学習、学級活動、避難・防災訓練	
参考 先進 事例	活動年度	年	団体名
	参考内容		

※ 赤枠は別紙「記入上の留意点」の各項目から選択し、記入してください。

地域特性に応じた アレンジ・工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・公立幼稚園・こども園・小学校・中学校が隣接している地域が多く、発達段階や校種間の一貫性を考慮している
実施スケジュール 内容・成果*	<p>4月：平成25年度幼小中一貫防災教育研究部会発足 今年度の研究方向を決定、月1回部会を開催</p> <p>5月：研究内容を教育セミナーで発表 【成果】各校防災主任等へ防災教育啓発</p> <p>6月：既刊の研究紀要をもとに実践</p> <p>7月：ぼうさい新聞（教師向け）・防災カルタ・紙芝居（園児、児童向け）づくり①</p> <p>8月：研究内容を教育研究発表会で発表 【成果】市内教職員、保護者、地域への防災教育についての周知 ぼうさい新聞（教師向け）・防災カルタ・紙芝居（園児、児童向け）づくり①</p> <p>9月：各校年間計画に防災教育活動を入れたものを作成</p> <p>10月：研究内容を神奈川県教育研究所連盟教育研究発表大会にて発表 【成果】他地区・市町村との情報交換</p> <p>11月：実践例を集める</p>
全体の反省・感想・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・教師自身の防災教育に対する意識を高め、実践を積み重ねていく必要がある
今後の継続予定	<ul style="list-style-type: none"> ・防災教育講演会を実施し、教師を啓発する ・各校で実践したことを振り返り、防災教育年間計画へ反映させていく。

※ 写真の添付など、枠内に収まらないときは裏面自由記述欄を使用してください。

2013 年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体) 最終報告書



自由記述欄 (必要に応じ、具体的な活動記録を自由様式で補足添付することが可能です。頁数自由)

- ・各学校で研究内容を実践し、その効果や成果を積み重ねた。



防災カードを見て、
頭を守るポーズをする
小学2年生

- ・ 紀要や実践したことを新聞で紹介



みなさん、ご覧になりました？

みなさん、ご存知ですか？昨年度、立ち上げられた長野市教育研究所幼小中一貫防災教育研究会では、研究紀要第8巻「子どもの命を守る防災教育」を幼・小・中の教員向けに刊行しました。(右図)この紀要の特徴は「短時間」で活用でき「活動内容満載」なところです。

紀要内の注目は、なんとと言っても「防災教育活動案(幼稚園、小学校、中学校)です!!」学校種ごと、学年ごとに合わせた仕様で作られています。さらに、印刷すればすぐに使用できるワークシートを兼ね備えており、一度使えば、便利さ、手軽さ、内容の深さを体感できること間違いありません。



ぜひ、研究紀要を開いていただき、目の前の子どもたちと共に防災教育を実践してほしいと思います。



今年度の研究は？

今年度の幼小中一貫防災教育研究会では、研究紀要「子どもの命を守る防災教育」を活用し、実践を推進すること。また、紀要をさらに活用しやすくするため、実践報告を検証し、さらに修正やアレンジを加えることで、より活動の場合ったものを提供していくことを目的としていきます。

現在、研究会では紀要の中で紹介されている防災かるた(3セット)や防災誌(3セット)を作成し、貸し出ししていきます。9月から貸出予定です。

また、みなさんが実際に活用された「実践報告」を研究会に送っていただき、私たち部会が研究を重ねることで、長野市の防災教育がさらに発展していくことを願っています。

実践ほっこり!!



はじめまして!
ほく、
防災ダック君

みなさんにも、ぜひ活用していただきたい一心で、研究会に所属する部員で実践を試みました。今回の紹介は、幼稚園、小学校での実践報告です

防災教育実践報告 幼稚園・小学校

- 「ぼうさいダック」をしよう!! (防災教育活動案P34~35)
- 対象学年 幼稚園・こども園 ~ 小学校低学年 (遊び方)
 - ・事前にカードに合わせた動きを確認しておく
 - ・曲が流れている時は自由に歩き、音が止まったらカードに合った動きをする
 - (子どもたちの様子)
 - ・動きも簡単なものですぐに覚え、楽しんで参加していた。
 - (感想)
 - ・楽しみながら覚えることができた。
 - ・効果と動きのつながりを実感し動いて覚えるので、子どもにとってはわかりやすかった。
 - ※はじめは動きが早い(速)を覚え、同じ動きをするようにして、慣れてきたところで、表の危険の方をみせるようにした

このカードは長野市の全ての幼稚園に配布されており、研究所でも借りることができます。



地震のときは... 「ダック」のポーズ! 両手を顔にのせて、かがみこらう。



<かめ(かみなり)のポーズ> 大きな動きの変化の方が子どもたちは大喜びでした。曲が止まると「しーん」と静かになりカードのほうに注目していました。



<ダック(地震)のポーズ> 地震の時は体を小さくして頭を守るということが自然にできていました。

防災教育実践報告 小学校

- 「地震だ! どうする! ?」 (防災教育活動案P42~43)
- 対象学年 小学校低学年~高学年 (活動)
 - ・ワークシートを活用する
 - ・地震が起きたとき、自分の身を守るにはどうすればいいのかが考える
 - (子どもたちの様子)
 - ・めもはなかなか書けないうすでしたが、1人、2人が「机に隠れるんだよね」「ガラスのそばって危ないぞ」などとつぶやき始めると、それがヒントとなり、次々と書き始めることができていた。
 - (感想)
 - ・児童・生徒の一人ひとりが避難行動について意識付けをするのに役立つことができた。
 - ・地震の備忘から自己を守るのではなく、防災について興味・関心を育つきっかけになっていたと感じた。



絵がないと、子どもたちのイメージがつかみにくい。P50の絵を提示してアレンジしました。

2013年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体) 最終報告書 記入上の留意点



最終報告書の作成にあたり、赤枠の項目について、以下を参照し該当番号を記入し、具体名称等を詳細欄に記入をお願いします。

「その他」を選択した場合は、詳細欄に具体的内容を記入してください。

1. プランの対象者について (複数選択可)

	項目		項目		項目
1	幼児・保育園児・幼稚園児	8	教職員・保育士等	15	高齢者
2	小学生(低学年)	9	保護者・PTA	16	海外
3	小学生(高学年)	10	地域住民	17	防災関係者
4	中学生	11	社会人・一般	18	全ての人々
5	高校生	12	女性	19	その他 ()
6	大学生	13	障がい者		
7	外国人留学生	14	養護学校児童生徒		

2. 対象災害種別について

	項目		項目
1	地震	5	不審者・犯罪被害
2	津波	6	火災
3	水害	7	災害全般
4	火山噴火	8	その他 ()

3. プランの目的について

	項目		項目
1	遊び・楽しみながらの防災	6	防災に関する知識を深める
2	防災に役立つ資料・材料づくり	7	技術を身につける
3	災害に強い地域をつくる	8	防災意識を高める
4	災害を想定した訓練	9	災害対応能力の育成
5	災害を疑似体験	10	その他 ()

4. 協力連携先

	項目		項目
1	学校・教育関係	6	企業・産業関連の組合等
2	同窓会組織	7	ボランティア団体・NPO 法人・NGO 等
3	保護者・PTAの組織	8	職業、職能団体
4	地域組織	9	学術組織、学会等
5	国・地方公共団体等	10	その他 ()

5. プログラムの種類について (複数選択可)

	項目		項目		項目
1	イベント・行事	7	学校内クラブ活動	13	体験学習
2	講習会・学習会・ワークショップ	8	その他学校内での時間	14	読書・絵本・読み聞かせ
3	講演会・シンポジウム	9	校外学習・移動教室	15	演劇
4	総合的な学習の時間	10	家庭学習	16	避難・防災訓練
5	教科学習	11	出前授業	17	その他 ()
6	学級活動	12	研究		